

平尾台自然観察センター～平尾山神社～茶ヶ床園地～

千仏鍾乳洞～見晴らし台～牡鹿鍾乳洞～平尾台自然観察センター

平尾台自然観察センターからの

# 平尾台散策

2020年8月29日

平尾台に神社があることを最近知った。その名は「平尾山神社」。今回はその神社にお参りした後、茶ヶ床園地経由で平尾台のフィールドを少しだけ散策してみることにした。

平尾台自然観察センター横の駐車場に車を止め、民家を通り抜けて神社に向かった。



平尾山神社の鳥居の表札

## <コース概要>

- 1、平尾台自然観察センター 7時44分 ～
- 2、平尾山神社 ～
- 3、茶ヶ床園地 ～
- 4、千仏鍾乳洞 ～
- 5、見晴らし台 ～
- 6、牡鹿鍾乳洞 ～
- 7、平尾台自然観察センター 9時54分



駐車場はガラガラで先着車は4台だった。

1、平尾台自然観察センター横の駐車場

7時44分

ゆっくり準備をしてスタート！



信号へ



信号を渡る(車に注意!) 7時45分



直進



白い看板を左へ 7時46分

左の「北九州子どもの村」方面へ進む。



「北九州子どもの村」 7時46分

小学校と中学校が一緒になっている。



校庭を左に見ながらまっすぐ進む。



T字路を左へ 7時47分

散策路の標識が角に立っている。ここを左に曲がってまっすぐ進む。



民家と畑の間を通り抜けながら 7時49分



直進したくなるがここを左へ 7時50分



正面の木から左へ曲がり 7時51分



すぐに右へ回り込む 7時52分



正面の森に向かって進む 7時53分



白い倉庫の手前を右へ 7時54分



倉庫前を通過してすぐに左へ 7時54分



曲がると階段と鳥居 7時54分



2、平尾山神社 7時55分



境内を掃除されていた地元の方にご挨拶



平尾山神社で参拝&休憩。その後、散策路に戻って先へと進む 8時08分

トイレの横から竹林へ 8時08分



散策路の標識前を通過 8時09分



森の中を道なりに進む 8時11分



これ何？ 高床式バンガロー？



薄暗い森を通り抜けると・・・ 8時16分



あれは大平山だー 8時17分



大平山(おおへらやま)

正面に堂々と聳える大平山が目飛び込んできた。やっと平尾台らしい風景を見ることができた。しかし、ここで突然道が消えた。辺り一面草が覆い茂っている。当面の目的地は茶ヶ床園地なので、どう考えても右に進むはずである。腰まで草を掻き分けて道を探すと、あったあった、ホッとした(笑)



草を掻き分けて進むと 8時18分

あれ～散策路の標識がある。しかもその横に森の中に通じる道があるではないか！



散策路標識



そう言えば、さっき森の中を上っている時、右斜めに分れる細い道があった。

たぶんその道が散策路だったのだろう。自分の歩いている道の方が広がったし、表示もなかったと思う。まさかあの道(青矢印)がこの散策路の標識に通じているとは…。そして何故かこの標識から先は、草刈りが行われていた。



ここからは快適な散策道

ベンチもあってのんびり出来そうだ。



小休憩



雄大な羊郡原を眺める 8時19分



背の高いムラサキツメクサ



広いフィールドへ 8時20分 この道は何処に通じているのだろうか?と推測しながら進む。



ヨメナ?



キンミズヒキ



サイヨウシャジン



クズ

	<p>農道に出た～ 8時26分</p> <p>で、ここはどこだ？まだ自分のいる場所が理解できていない、このもどかしさ(笑)</p> <p>正面を見上げると、大平山が見えるという事は、茶ヶ床園地は右方向になる。</p> <p>ん？正面の斜面に道がある。と、ここでようやくお粗末ながら自分の現在地がわかった。農道に出て左斜め前を見ると道標が…。</p>
	<p>茶ヶ床園地へ500mの道標 右へ</p> <p>なーんだ、この道は何度か歩いたことのある道だ。あ～勘が鈍い自分が情けない(悲)</p>  <p>やれやれ</p>
<p>この道標から斜面をまっすぐ上っていくと大平山はもちろん、キス岩にも会えます。</p>	
 <p>茶ヶ床園地駐車場は満車状態</p>	<p>3、茶ヶ床園地 8時34分</p> <p>前回(8月9日)、平尾台を訪れた際、男子トイレで燕の巣を見つけた。気になっていたが、雛鳥 4羽は無事に巣立ったようだ！</p>  <p>8月9日 → 8月29日</p>
<p>駐車場を通り抜け右に進む 8時37分</p> 	<p>車道を100m程歩くと…</p> 



車道から散策路へ 8時38分

茶ヶ床園地のトイレから1分程歩くと、車道の柵に切れ間がある。柵に「千仏洞、堂金山」の表示がある。ここから左に入っていく。ここから少しずつ下りになっていくが、このコースも夏草に覆われて道が見えない。しかしながら、夏季の花々が出迎えてくれるので、楽しく歩くことができる。



キキョウ



センニンソウ



広大な平尾台の風景を見ながら気分よく歩く 8時45分



ノヒメユリ



ヤマハギ?

車道に飛び出て左へ 8時51分



千仏鍾乳洞に行ってみよう！ 8時51分



この車道は、千仏鍾乳洞に行くための観光道路である。時間もあるし行ってみることにした。

千仏鍾乳洞入口 8時53分



夜間は通行止めとなる。 通過



千仏鍾乳洞の広い駐車場 9時00分

入口から7分程歩いてようやく駐車場に辿り着いた。しかし、ここからまだ220m。



急坂を下る



長い階段をスタート 9時01分

以前、子供たちが小学生の頃(20数年前)に訪れたが、もはや記憶にない。鍾乳洞の入口までこんなに遠かったのだろうか？



転げ落ちそうだ

大石高平翁碑

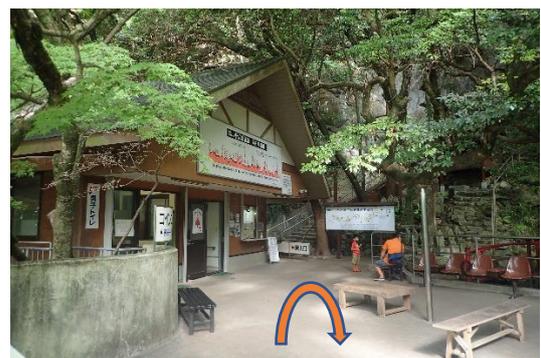


急坂の途中に設置されている

大石高平さんの碑



大正十年(1921年)現在、行橋となっている椿市村の村長であった大石さんが一切の公務から退き、私財をなげうって五年の歳月をかけて、大正十五年(1926年)に開洞いたしました。その後、昭和十年に国の天然倉記念物に指定された由緒ある鍾乳洞です。尚、文章を作った劉寒吉さんは郷土の文化に尽くし、九州文学を支えた人で、小倉生まれの作家。(説明看板より)

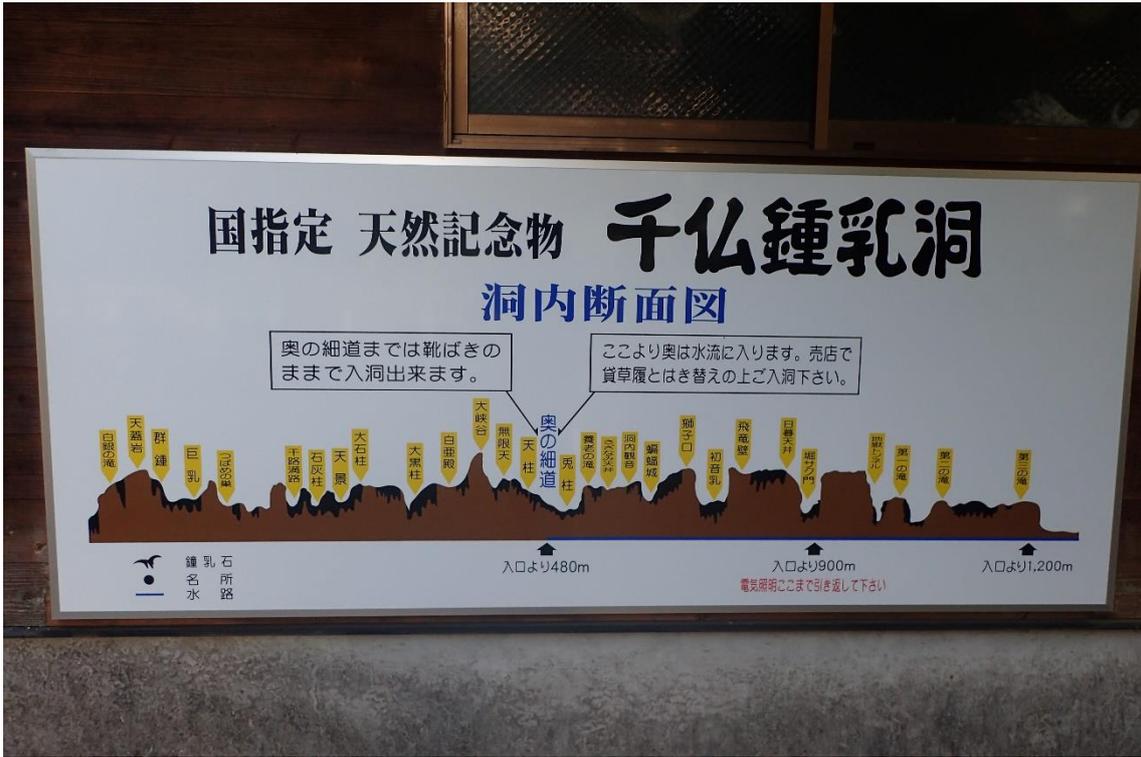


4、千仏鍾乳洞 券売所 9時09分

既に10組は入洞している。まだ朝が早いですが、これから家族連れで賑わうのだろう。私も鍾乳洞探検をしてみようか？とも思ったが、ここでUターン。

暑い夏、涼を求めて鍾乳洞探検はいかがですか？子供は喜ぶこと間違いなしです！

入洞料金は大人 900 円。



洞内は900m地点まで電気照明があり、歩けるらしい。往復1.8kmなので、かなり長丁場だ。

	<p>長い急坂を登り返す 9時16分 駐車場の車も増えていた。</p> <p>観光地</p>
	<p>千仏鍾乳洞入口 9時23分 券売所から必死に登って13分。もう汗びっしょり。フィールドに出ると風が心地いい。</p> <p>通過</p>



車道を道なりに歩く 9時25分

先程車道に飛び出てきた分岐の前を通過。沿道に咲く花を眺めながら歩いていると、鍾乳洞見物の車が走って行く。

他県ナンバーも多い。ほとんどが小学生を連れたファミリーのようだ。そう言えば、自分達もよく遊んだな～。懐かしい昔のマイファミリーを思い出しながら歩いていた。



コウゾリナ



ニラ?



ヤブラン



アキノノゲシ



のんびり車道歩き 9時33分

右に一本の大きな木、その向かい側に散策路の入口があり、堂金山へ行くことも出来る。ここから散策路へ入ってもよいが…。相変わらず草が覆い茂っているフィールドを見ると、また今度と言う気持ちになって…。車道をまっすぐ歩き、ゴールの平尾台自然観察センターを目指した。



5、見晴らし台 9時38分

ここから右に行けば茶ヶ床園地が続く。平尾台自然観察センターは直進。



平尾台MAP



6、牡鹿鍾乳洞への分岐 9時46分

平尾台自然観察センターへ戻る途中、牡鹿鍾乳洞がある。「ちょっと寄ってみるか～」と思って、左の道へ入ってみた。



結局、牡鹿鍾乳洞内も見学せずにUターン。臆病なのか？何となく気が進まない。



Uターン後、この看板に戻って平尾台自然観察センターを目指す。9時48分

牡鹿鍾乳洞

国内で2ヶ所しか無いと云われている珍しい垂直鍾乳洞で、鉄階段を30m降りると、地下水流・鍾乳石・奇岩・滝の雄大な姿を南北180mにわたって探検できます。

(説明看板より)



7、平尾台自然観察センター横の駐車場

9時54分

今回は平尾台散策ショートコース。所要時間は2時間10分。それにしても暑かった！滝汗でした。私のような年齢になると、「危険な暑さ」と言われるような日は、決して無理せず、短時間の行動に自重していた方が良いのかもしれない。

スマホ計測で11705歩、お疲れ様でした。今度はどこを歩こうかな？